

一般質問・質疑

12月5日、6日、9日の本会議では、23人の議員が市役所新庁舎の整備や災害対策、子ども教育環境などについて、市の見解を求めました。なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 吉田 秀夫** (フォーラム明石)
①市役所新庁舎の整備 ②地球温暖化対策 ③公契約条例 ④明石市職員の精神疾患の発生状況と対応・対策
- 森 勝子** (維新の会・代表質問)
①台風の大型化による災害対策 ②市役所新庁舎整備 ③シティブランド・ランキングー住みよい街2019ー ④あかし動物センター
- 丸谷 聡子** (未来明石)
①気候変動に対する取り組み ②明石市コミュニティバス(たこバス) ③市内の学校における男女混合名簿の使用 ④新幹線車両基地の課題認識
- 三好 宏** (自民党 真誠会・代表質問)
①工場立地法に基づく緑地面積率の緩和 ②統合型校務支援システムの導入 ③学校給食における地産地消と食育の推進
- 松井 久美子** (公明党)
①議案第49号 明石市本のまち基金条例制定のこと ②就職氷河期世代の活躍の支援 ③先進事例の視察等調査研究への補助等
- 竹内 きよ子** (フォーラム明石)
①未来ある子どもたちが心豊かにのびのび学校生活を送ることができる環境整備 ②いじめ問題の撲滅に向けて ③大久保地域の交通政策
- 簡 泉 寿一** (維新の会)
①CO₂削減 ②観光振興 ③成人式 ④天文科学館の年始開館 ⑤市民病院
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)
①市街化調整区域等の有効な土地活用と線引きのあり方 ②ひとり親家庭の自立と支援
- 梅田 宏希** (公明党)
①子どもを核とした教育環境の整備 ②動物と共生するまちづくり ③明石市の産業振興と工場立地法
- 林 丸美** (フォーラム明石)
①LGBT(性的マイノリティー)の人権問題 ②駅前喫煙所
- 北川 貴則** (維新の会)
①福祉の充実 ②魚のまち明石の海産資源 ③JR朝霧駅前への市役所窓口機能の整備 ④高校生議会でのSDGsの提案
- 井藤 圭順** (自民党 真誠会)
①待機児童対策 ②小・中学生の安全対策 ③伝統・文化の教育
- 国出 拓志** (公明党)
①防災・減災対策 ②積極的にAI(人工知能)の導入をしないか
- 坂口 光男** (自民党 真誠会)
①「市民憲章」を制定する取り組み ②最終年度となる「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証結果と評価・成果
- 尾倉 あき子** (公明党)
①フレイル予防で健康長寿のまちづくりを ②登録有形文化財「旧波門崎(はとさき)燈籠堂」の保存と周辺整備
- 辰巳 浩司** (自民党 真誠会)
①明石港東外港地区の再整備と新庁舎整備 ②明石市の歴史文化遺産
- 飯田 伸子** (公明党)
①発達障害児支援 ②高齢運転者の事故防止施策
- 石井 宏法** (自民党 真誠会)
①市民夏まつり開催 ②豊かな海づくり ③小中学校における防災教育 ④インバウンド獲得のための観光施策
- 佐々木 敏** (公明党)
①グリーンスローモビリティ ②市役所新庁舎の設計
- 千住 啓介** (自民党 真誠会)
①議案第53号 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定のこと
- 楠本 美紀** (日本共産党)
①戦争の惨禍を繰り返さないための平和行政 ②子どもの貧困対策 ③高齢者が安心して暮らせる明石市に
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
①災害対策 ②インクルーシブ教育
- 辻本 達也** (日本共産党)
①SNS等に起因する事犯による被害児童・生徒の状況 ②明石市と西日本旅客鉄道株式会社との鉄道沿線のまちづくりに関する包括連携協定に基づく今後の取り組み ③生活保護行政 ④市街化区域の農地転用 ⑤交通不便地域における移動手段の確保と充実 ⑥気候非常事態宣言
- ◎明石市議会議員定数条例の一部を改正する条例(12月20日質疑)

新庁舎整備は現在地 市長が正式表明 コンパクトで機能的に

問 9月議会において、市議会の意思を示す「市役所新庁舎整備候補地に関する決議」を全会

答 市役所新庁舎の整備については、現在地を進めていきたいと考えている。整備にあたっては、防災や市民サービスの課題を踏まえ、ダウンサイジング、防災の拠点機能、市



新庁舎は明石らしさを感じられるものへ

一致で可決したが、いまだ市長から新庁舎の整備方針が明確に表明されていない。市長の考えを聞く。

答 市民ギャラリーやコミュニティスペースのような市民が利用できる空間の確保に加え、明石の良さを感じられる庁舎にしたい。今後、市議会や市民の意見をしっかりと受け止めつつ、国の財政支援が受けられるタイムスケジュールでスピード感を持って進めていく。

市民ギャラリーやコミュニティスペースのような市民が利用できる空間の確保に加え、明石の良さを感じられる庁舎にしたい。今後、市議会や市民の意見をしっかりと受け止めつつ、国の財政支援が受けられるタイムスケジュールでスピード感を持って進めていく。

問 全国の働く世代を対象に日経BP総研がアンケートを実施し、明石市は37位であった。今後より住みよい街を目指すとして、どのような施策に力を入れるのか。

答 シティブランド・ランキング住みよい街2019は、街などに対する住み良さについて、安心・安全、快適な暮らし、生活の利便性など8分野38項目を評価

明石のランキングは37位に上昇 誰もが暮らしやすいまちづくりを

集計したものだ。本市は前回の87位から大幅に上昇したが、これは大阪等へのアクセスの良さに加え、明石駅前再開発や子育て施策の充実により、まちの魅力が徐々に認知・実感されつつあることが要因だと認識している。

今後は、明石の良さを理解した上で明石駅前だけでなく市全体にわたって、こども総合支援の充実だけではなく高齢者施策の重点的展開など、世代を問わず誰もが暮らしやすいまちづくりを着実に進めていく考えだ。

緑地面積率の緩和

市民の理解が必要

検討会で議論

問 市内事業者の生産力向上や雇用促進、事業拡大による税収増などが見込まれるため、工場立地法に基づく緑地面積率を緩和できる条例を制定すべきと考え

答 本市はSDGs未来安心都市・明石の創造を掲げ、「いつまでも、すべての人に・やさしい」持続可能なまちづくりを進めており、経済面や環境面など様々な取り組みが必要だ。緑地面積率の緩和は、経済面では企業の設備投資を促し、生産性が向上することによって新たな雇用の創出につ

ながるなど、経済発展に有効な手法と認識している。一方、環境面では市全体の緑地面積の維持・向上と市民の理解を得る必要がある。来年度中を目標に学識経験者や商工会議所、環境団体、市民代表などによる検討会を設置し、本市の緑地の在り方などを幅広く議論していく予定だ。

大規模停電時 非常用電源に電気自動車 広く周知・啓発が必要

問 国は、大規模停電時に電気自動車を移動電源として活用する体制を整える行動計画を公表した。この計画では、自治体や自動車メーカーに活用方法について積極的に発信するよう要請している。本市の

答 昨年の台風15号では千葉県等で広域停電が長期継続し、多くの住民が不慣れた生活を強いられた。その際、避難所等ではハイブリッド車や電気自動車が非常用電源として利用された。本市としても有用性を認識し、地域防災計画に非常用電源として電気自動車等の活用を記載したいと考えている。現在、市内の自動車販売店とハイブリ



地域防災計画

問 市民共通の誓いとなる親しみのある市民憲章の制定について、市の考えを聞く。

答 市民憲章は、まちの理想像や市民の主体的な行動などを分かりやすい表現で定めたものであり、全国の約8割の市が制定している。本市は、昭和50年に全国に先駆けてコミュニケーション元年を宣言し、市政運営の柱に据えてきた。さらに、平成18年に協働のまちづくり提言書を策定、22年には自治基本条例を制定し、自治の主体である市民の権利と役割を規定した。また、長期総合計画において、10年間で実現を目指すまちづくりの目標を市民参画のもとで定めるなど、市民憲章とは形が異なるものの、市民とともにまちづくりを進めてきたところだ。市民憲章の制定については、市民意識の高まりの状況を見極めながら、他市の事例も参考に調査・研究していきたい。

市民共通の誓い

制定の考えは

市民憲章は、まちの理想像や市民の主体的な行動などを分かりやすい表現で定めたものであり、全国の約8割の市が制定している。本市は、昭和50年に全国に先駆けてコミュニケーション元年を宣言し、市政運営の柱に据えてきた。さらに、平成18年に協働のまちづくり提言書を策定、22年には自治基本条例を制定し、自治の主体である市民の権利と役割を規定した。また、長期総合計画において、10年間で実現を目指すまちづくりの目標を市民参画のもとで定めるなど、市民憲章とは形が異なるものの、市民とともにまちづくりを進めてきたところだ。市民憲章の制定については、市民意識の高まりの状況を見極めながら、他市の事例も参考に調査・研究していきたい。